

OB 諸兄 OG 諸姉 各位

間もなく、2024年度関西学生リーグが開幕します。

2023年度を振り返ると、春から夏にかけて徐々に力を発揮し、男子部は関西学生選手権3位で久しぶりに総理大臣杯出場、女子部も京都選手権で2位となり皇后杯関西大会に出場。秋には一層の活躍を期待していました。しかし、男子部は関西学生1部リーグ10位、女子は関西学生女子秋季リーグ2部6位と残念な結果に終わりました。私見ですが、男子部・女子部のベストゲームは、7/23 共に西京極で戦った試合。男子部は前期最終節2対0 阪南大戦、女子部は京都選手権決勝1対3 明治国際医療大(関西女子1部1位)戦でした。そうです、創部70周年記念パーティーの日の試合です。OB・OGが多数スタンドで拍手声援を送った熱い夏の一戦です。

さあ、今シーズンも応援にいきましょう！OB 諸兄、OG 諸姉よ、スタンドから、家から、どこからでも熱いエールや思いを送りましょう。必ず彼らを勇気づけ、彼女たちの力になります。

*男子部・関西学生1部リーグ(前期)

<第1節> 4月 7日(日) 14:00 西京極陸上競技場 対 阪南大

<第2節> 4月13日(土) 11:30 三木総合防災陸上競技場 対 大阪学院大

<第3節> 4月28日(日) 11:30 三木総合防災陸上競技場 対 京都産業大

※ 第4節以降は、会場調整中のため未定

*女子部の関西学生女子春季リーグ(2部)の開幕は5月です。

2024年度、男子部の監督が米田隆監督から池上礼一監督に変わりました。

米田隆監督は、衣川和宏監督(1953~2003)勇退のあと、2004~2010年と2014~2023年の二期間監督として活躍。この間、インカレ準優勝・総理大臣杯優勝等、立命館大学サッカー部を全国的な強豪チームに育て、立命スタイル(部運営・プレーモデル)を確立させてくれました。それゆえに、私は米田監督を信頼していました。

社会が変わり学生気質が変わる中、いつまでも同じやり方で言い訳はない。しかし、変えてはいけない普遍的なものもある。立命館でサッカーをやる意義は何か。

今回の監督交代を残念に思います。理由は三つ、①創部以来築き上げてきた立命スタイルを継承し、かつ成績も残してきた監督であること。②米田監督はまぎれもなく立命館大学サッカー部発展の功労者である。その監督の去り際を考えるともっと別の形があったはずである。③どの監督もいつかは交代する。新監督をなぜOBから迎えないのか。新監督になる人材はOBの中にもいるのに、外部から招聘する理由がわからない。

以上は、監督交代についての思いや考えであり、大学サイドへの訴えである。新監督の池上氏に反感をもっているわけでも文句があるわけでもない。

新監督の池上氏には、2/23に初めて会いました。若くてはつらつとし、エネルギッシュでした。好感がもてる人物だと感じました。みなさん、新監督にも注目、応援しましょう。

戸水新主将をはじめ学生幹部たちも「とても熱い人」と言っていました。コミュニケーションもよくとってくれるし、練習の雰囲気明るくなったと話していました。まずはい

い方向に新チームがスタートしています。3/24 京都学生選手権準決勝4対0京大戦の応援にいきました。チームのシステムも変わり、まだまだ課題はたくさんあるように感じられましたが、MF 戸水とFW 中野の両エースが健在で楽しみな新チームです。明日 3/31 京都学生選手権決勝 対 京都産業大（西京極、13:30）、力のあるチームにどれだけできるか楽しみです。この大会は天皇杯につながるので、ぜひとも勝ってほしい。久しぶりに、天皇杯でJリーグのチームと対戦してほしいと思います。

(※4/4追記、残念ながら決勝戦は、立命館2対3京都産業大で敗れました。この敗戦を次のリーグ戦にいかせるかが大切です。チームはまだまだ発展途上です、第3節 4/28には京都産業大戦があります。リターンマッチを楽しみにしています。)

シーズンがはじまります、わくわくしてきます。応援にいきましょう、声をだし拍手を送りましょう。熱いエールをよろしくお願いします。

2024・3・30
OB.OG.会 奥野昌紀